



2027年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月15日

上場会社名 株式会社幸和製作所 上場取引所 東
コード番号 7807 URL <https://kowa-seisakusho.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）玉田 秀明
問合せ先責任者 （役職名）執行役員経営企画室長 （氏名）田代 昌也 TEL 072 (238) 0605
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有（当社ホームページ）
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期第1四半期の連結業績（2026年3月1日～2026年5月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年2月期第1四半期	1,799	2.1	316	97.4	274	48.8	194	66.1
2026年2月期第1四半期	1,763	2.2	160	△46.3	184	△36.3	116	△48.2

（注）包括利益 2027年2月期第1四半期 265百万円（265.7％） 2026年2月期第1四半期 72百万円（△76.5％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	46.76	46.73
2026年2月期第1四半期	28.19	28.14

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2027年2月期第1四半期	5,474	3,738	66.3	873.64
2026年2月期	5,077	3,526	67.4	823.96

（参考）自己資本 2027年2月期第1四半期 3,630百万円 2026年2月期 3,423百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	0.00	—	13.00	13.00
2027年2月期	—	—	—	—	—
2027年2月期（予想）	—	0.00	—	13.00	13.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	3,270	△2.1	421	11.7	405	8.1	264	10.4	63.61
通期	6,403	0.2	753	0.7	734	10.1	486	13.9	117.26

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年2月期1Q	5,032,630株	2026年2月期	5,032,630株
② 期末自己株式数	2027年2月期1Q	877,134株	2026年2月期	877,134株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年2月期1Q	4,155,496株	2026年2月期1Q	4,148,836株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として確約する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算説明資料については、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や企業業績の回復等を背景に、景気の緩やかな回復傾向が続いております。一方で、米国の通商政策や中東情勢、資源や原材料価格の高止まりに起因する物価上昇による個人消費の伸び悩み、為替の変動といったリスク等の影響により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

介護業界におきましては、高齢化の進展に伴う介護需要の増加が見込まれる一方で、慢性的な人材不足が続いており、人材の確保・定着が重要な経営課題となっております。また、2025年4月に施行された育児・介護休業法の改正などを背景に、介護サービス事業者には、処遇改善や職場環境の整備に加え、経営の透明性向上や業務の生産性向上に向けた取り組みが引き続き求められております。

また、ICT・AI・介護ロボットの導入をはじめとする介護テクノロジーの活用が進み、福祉用具においても「使いやすさ」「安全性」「デザイン性」など、多面的な価値が重視される傾向が強まっています。

こうした環境のもと、当社グループは「既存事業の変革と拡大」「業務の効率化」「ブランド価値の再設計」を柱に、継続的な成長と新たな価値の創造を目指して取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間においては、重点施策として掲げる「既存事業の変革と拡大」において、主力製品である歩行車の受注が堅調に推移いたしました。これに伴い、増加する需要に的確に対応するため、生産体制および供給体制の強化に取り組むとともに、安定的な製品供給の維持に努めております。また、市場における多様化するニーズに対応するため、既存製品の機能改善および製品ラインアップの充実を進めることで、製品競争力の向上を図っております。さらに、継続的な品質向上および業務効率化にも取り組み、既存事業の収益基盤の強化と持続的な成長の実現に向けた体制整備を推進いたしました。

今後も当社グループは、現場の声や社会の変化に真摯に向き合い、使う方にとって本当に価値ある製品を届けることで、福祉用具を通じた社会課題の解決に努めてまいります。

このような取り組みを進めるなか、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、17億99百万円（前年同期比2.1%増）、売上総利益は、8億17百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益は3億16百万円（前年同期比97.4%増）となりました。また、営業外収益として賃貸収入5百万円、営業外費用として為替差損42百万円等を計上した結果、経常利益は2億74百万円（前年同期比48.8%増）となり、特別利益として固定資産売却益5百万円を計上した結果、税金等調整前四半期純利益は2億79百万円（前年同期比61.4%増）となりました。

これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税、住民税及び事業税76百万円等を計上したことにより1億94百万円（前年同期比66.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①介護用品・福祉用具製造販売事業

介護用品・福祉用具製造販売事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、主力製品である歩行車を中心に、既存顧客における継続利用を背景としたリピート受注が堅調に推移したことに加え、販売先において導入済み製品が安定的に稼働していることから、更新および追加需要が着実に増加したことにより、前年同期を上回る結果となり、16億74百万円（前年同期比6.9%増）となりました。セグメント利益につきましては、円安による輸入コスト上昇の影響が続いているものの、主力製品である歩行車を中心とした売上高の増加に加え、生産効率の改善および原価低減への取り組みが寄与したことから3億87百万円（前年同期比60.2%増）となりました。

②介護サービス事業

前第1四半期連結会計期間より、連結子会社である㈱幸和ライフゼーションとパーソンケア㈱の決算日を変更し連結決算日と同一としております。この決算期変更に伴い、前第1四半期連結累計期間における㈱幸和ライフゼーションの会計期間は2025年1月1日から2025年5月31日までの5か月、パーソンケア㈱の会計期間は2025年2月1日から2025年5月31日までの4か月となっております。

これらの影響等に伴い、当第1四半期連結累計期間の売上高は、62百万円（前年同期比31.9%減）となりました。セグメント損失は15百万円（前年同期はセグメント損失21百万円）となりました。

③EC事業

EC事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期における広告投下及び販売促進施策の効果の反動等により、前年同期を下回り、1億62百万円（前年同期比25.8%減）となりました。セグメント利益は13百万円（前年同期比25.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産の部）

流動資産は、前連結会計年度末と比較して4億19百万円増加し、44億94百万円となりました。これは主に、有価証券2億7百万円、受取手形及び売掛金1億49百万円、現金及び預金1億26百万円等の増加要因が、商品及び製品1億6百万円等の減少要因を上回ったことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して22百万円減少し、9億80百万円となりました。これは主に、機械装置及び運搬具13百万円、使用権資産5百万円等の減少要因が、繰延税金資産3百万円等の増加要因を上回ったことによるものであります。

（負債および純資産の部）

流動負債は、前連結会計年度末と比較して1億84百万円増加し、14億92百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金1億20百万円、未払法人税等45百万円等の増加要因が、賞与引当金11百万円、電子記録債務10百万円、流動負債のその他に含まれる未払費用3百万円等の減少要因を上回ったことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して0百万円増加し、2億44百万円となりました。これは主に、繰延税金負債が7百万円増加し、リース債務が7百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して2億11百万円増加し、37億38百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益1億94百万円、為替換算調整勘定66百万円の増加要因が、配当の支払い54百万円の減少要因を上回ったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年2月期の業績予想につきましては、2026年4月14日付「2026年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表しました連結業績予想に変更ありません。なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の業績は、市場環境の様々な要因により変動する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,331,473	1,458,243
受取手形及び売掛金	731,800	881,616
電子記録債権	136,942	139,513
商品及び製品	1,045,208	938,360
仕掛品	13,661	8,459
原材料及び貯蔵品	85,963	96,525
有価証券	670,822	878,194
その他	58,758	93,348
流動資産合計	4,074,630	4,494,260
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	202,475	198,257
機械装置及び運搬具（純額）	59,074	45,844
土地	328,288	328,288
使用権資産（純額）	188,749	183,136
その他（純額）	129,919	129,714
有形固定資産合計	908,506	885,240
無形固定資産		
リース資産	1,137	650
その他	47,530	45,706
無形固定資産合計	48,667	46,356
投資その他の資産		
投資有価証券	1,980	1,980
繰延税金資産	26,358	29,965
その他	17,782	17,124
投資その他の資産合計	46,121	49,070
固定資産合計	1,003,296	980,667
資産合計	5,077,926	5,474,927

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	769,280	889,719
電子記録債務	24,529	14,371
リース債務	48,366	49,366
未払金	324,203	351,976
未払法人税等	27,901	73,558
賞与引当金	24,665	13,490
その他	88,604	100,044
流動負債合計	1,307,552	1,492,528
固定負債		
リース債務	152,950	145,906
資産除去債務	1,098	1,098
退職給付に係る負債	425	425
繰延税金負債	89,426	96,843
固定負債合計	243,901	244,273
負債合計	1,551,453	1,736,801
純資産の部		
株主資本		
資本金	63,678	63,678
資本剰余金	1,631,401	1,631,401
利益剰余金	2,412,757	2,553,028
自己株式	△993,563	△993,563
株主資本合計	3,114,274	3,254,545
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	309,708	375,852
その他の包括利益累計額合計	309,708	375,852
非支配株主持分	102,490	107,727
純資産合計	3,526,473	3,738,125
負債純資産合計	5,077,926	5,474,927

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年3月1日 至 2025年5月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年3月1日 至 2026年5月31日）
売上高	1,763,043	1,799,241
売上原価	989,573	981,245
売上総利益	773,469	817,996
販売費及び一般管理費	613,155	501,536
営業利益	160,314	316,459
営業外収益		
受取利息	1,452	437
受取手数料	189	339
デリバティブ評価益	1,143	—
賃貸収入	8,381	5,370
補助金収入	300	1,120
為替差益	23,607	—
その他	360	199
営業外収益合計	35,434	7,466
営業外費用		
支払利息	4,618	1,754
賃貸費用	5,648	5,026
為替差損	—	42,186
その他	869	219
営業外費用合計	11,137	49,187
経常利益	184,611	274,738
特別利益		
固定資産売却益	446	5,176
特別利益合計	446	5,176
特別損失		
固定資産除却損	11	—
投資有価証券売却損	11,620	—
特別損失合計	11,632	—
税金等調整前四半期純利益	173,426	279,915
法人税、住民税及び事業税	47,567	76,404
法人税等調整額	4,283	3,980
法人税等合計	51,850	80,385
四半期純利益	121,575	199,530
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,607	5,237
親会社株主に帰属する四半期純利益	116,967	194,292

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年3月1日 至 2025年5月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年3月1日 至 2026年5月31日）
四半期純利益	121,575	199,530
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,884	—
繰延ヘッジ損益	2,955	—
為替換算調整勘定	△64,765	66,143
その他の包括利益合計	△48,925	66,143
四半期包括利益	72,649	265,673
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	68,041	260,436
非支配株主に係る四半期包括利益	4,607	5,237

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）の償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年3月1日 至 2025年5月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年3月1日 至 2026年5月31日）
減価償却費	100,557千円	34,800千円

（セグメント情報等の注記）

前第1四半期連結累計期間（自 2025年3月1日 至 2025年5月31日）
報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計	調整額（注） 1	四半期連結財務諸表計上額 （注）2
	介護用品・福祉用具製造販売事業	介護サービス事業	EC事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,484,272	92,024	186,746	1,763,043	—	1,763,043
セグメント間の内部売上高又は振替高	81,713	—	32,658	114,372	△114,372	—
計	1,565,985	92,024	219,404	1,877,415	△114,372	1,763,043
セグメント利益又は損失（△）	241,720	△21,424	10,907	231,203	△70,889	160,314

（注）1. セグメント利益又は損失の調整額△70,889千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△67,721千円、取引高の消去1,333千円、棚卸資産の調整△4,522千円およびその他の調整額20千円が含まれております。

なお、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自 2026年3月1日 至 2026年5月31日）
報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計	調整額（注） 1	四半期連結財務諸表計上額 （注）2
	介護用品・福祉用具製造販売事業	介護サービス事業	EC事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,573,647	62,702	162,891	1,799,241	—	1,799,241
セグメント間の内部売上高又は振替高	101,008	—	—	101,008	△101,008	—
計	1,674,655	62,702	162,891	1,900,249	△101,008	1,799,241
セグメント利益又は損失（△）	387,355	△15,521	13,722	385,556	△69,096	316,459

（注）1. セグメント利益又は損失の調整額△69,096千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△67,447千円、取引高の消去1,150千円、棚卸資産の調整△2,610千円およびその他の調整額△188千円が含まれております。なお、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。